Funehiki High School News vol.172

～がんばる船高生～ ATTENTION!　第52回

令和３年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテストに入選！

10月３日、船高アクティブリーダー育成プロジェクトのメンバーが令和３年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテストに出場し、福島大学アドミッションセンター長賞を受賞しました！

社会貢献コンテストは「福島の高校生が、日本を元気にする」を合言葉に、福島県内の高校生たちが地域や社会のための活動を発表するコンテストです。今回はコンテストに出場した本間琉星（りゅうせい）さん（２年 都路中）、菅野里美さん（２年 岩代中）、齋藤風花さん（２年 大越中）、高野晃義さん（２年 船引中）に話を聞きました。

▼左から、菅野さん、齋藤さん、本間さん、高野さん

── 今回のコンテストはどのようなものだったのですか？

本間さん　僕たちは昨年度より震災から復興を後押しする活動をしてきました。今回のコンテストでは、昨年度、都路町を訪問し、交流した経験を発表しました。

菅野さん　今年度は“防災”をテーマに、活動をしているので、７月に田村市で実施された避難所設営訓練の様子も発表し、自分たちが地域に貢献していくにはどうしたらよいのかをコンテストで発表しました。

── コンテストに出場した感想を教えてください？

齋藤さん　今年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインでの開催のため、慣れないパソコンの操作も加わりとても緊張しました。当日は、機械の操作をする人、発表をする人、全体の進行を確認する人に分かれ、役割分担することでよいプレゼンテーションにすることができました。

また、発表後の質疑応答では、今後の活動方針を尋ねられ、子どもから高齢者まですべての方へ防災意識を高めていく活動を継続していきたいと述べることができました。緊張しましたが、みんなで協力して発表できたので、よい経験となりました。

▲オンラインでプレゼンする様子

高野さん　地域の特産品などで商品開発をしている高校生や、私たちと同じように地域の復興を後押しする活動に取り組んでいる高校生の話を聞くことができて、よい刺激になると同時に自分たちの活動にもさまざまなヒントをいただきました。

── 今後のアクティブリーダーの活動の意気込みは？

本間さん　先日避難所設営の仕方や、大規模な災害が起きたときの適切な行動などといった答えのない問題にどう対処していったらよいのかについて、福島大学の先生から講義をしていただきました。12月には、市役所の方々と協働で防災食に関する活動を実施する予定です。学んだことを田村市に還元できるよう、今後も頑張っていきたいと思います。

◆令和３年度船引高校の学校紹介動画が完成しました！

船引高校を紹介する動画が完成しました！「福島県教育委員会」とインターネット上で検索し、「県立学校紹介動画」という項目からご覧ください。

スマートフォンでこちらのQRコードを読み込むとすぐにご覧になれます▶▶▶

福島県立船引高等学校　Tel…0247-82-1511　Fax…0247-82-5233
ＨＰ…https://funehiki-h.fcs.ed.jp　mail…funehiki-h@fcs.ed.jp

海を越えて　英語指導助手ペンリレー　No. 101

音楽―万国共通の言葉

Andy Brubaker
アンディ・ブルベーカーさん
（アメリカ合衆国 オハイオ州出身）
田村市に来て３年目

私たちの住む世界には、万国共通で分かち合える面白いことがあります。その一つは音楽ではないでしょうか。私の母国アメリカでは、学校へ行くバスの中やデパートなどの公共の場所で音楽が流れていますが、それは日本も同じだと思います。大きな違いは、流れている音楽のジャンルです。アメリカでは、店舗の雰囲気や季節によって音楽が変わります。特に冬の音楽は、母国の家族や友人たちを思い出させてくれます。12月にどこででも聞かれるジャンルはクリスマス音楽です。私の地元では昔から、クリスマスの曲を歌いながら家々を歩いて回るキャロリングをする慣習があり、若い頃、教会の人たちと一緒に行うのがとても楽しかったです。

音楽のジャンルは多様でいくつか例を挙げれば、カントリー（ウエスタンミュージック）、ロックンロール、ラップ（ソウル音楽）、ポピュラー（ポップミュージック）などがあります。私はクラッシックやポピュラー音楽が好きですが、ほとんどのジャンルの音楽を楽しみます。

大学生の時に世界のいろいろな音楽のジャンルを勉強する授業を受けましたが、日本の楽器の形式や音楽の様式に特に心を惹かれました。今は日本に住んでいるので、日本発祥の特色ある音楽を体験することができます。例えば、三味線、三線（さんしん）、琴などのような弦楽器は、それぞれが日本を感じさせる音色を奏でるので、これらの楽器の音色を聞くと心に安らぎを感じます。私はいつか三味線を習いたいと思っています。

また、和太鼓も日本の祭りを連想させる独特の音色を奏でる楽器です。和太鼓が田村市のいろいろな行事で用いられ、その音色を聞くのは楽しいです。

ジャンルや楽器が違ったとしても、国や背景の異なる人々が音楽を聴いたり、歌ったり、演奏したりすることを通して一つにつながることができると思います。この特別な冬の季節に、一緒に音楽を楽しみましょう。

広告欄　Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 経営戦略室（☎0247-81-2117）へ